

季刊・オーディオ アクセサリー

Audio Accessory

2025 SUMMER 197

特集

Qobuz 再生を楽しむためにプラスオン

厳選の ネットワークプレーヤー 一斉比較

リビング・
オーディオの
グレードアップ
オーディオボード編



特別付録 CD

PENTATONE 山之内 正 セレクション

特別付録冊子

光城精工 仮想アース徹底攻略ガイド



AA誌の注目記事は
WEBでも楽しめます!

オーディオラック専門ブランドの新たなる挑戦

機器の質量に応じて選択できる 振動研究の成果がここに集約

Profile イタリア初のオーディオラック専門ブランドである。パッソコンティニューオ。「通奏低音」を意味するブランド名が示す通り、第一に音楽性を追求しつつ、メイド・イン・イタリアを貫き、美しいデザインをまとったオーディオラックは日本のオーディオファンの間でも人気を博している。そんな同社が次なるステップとして開発した分野がインシュレーターである。創業以来15年以上にわたり探究してきた振動対策への研究と科学的な測定データに基づいて開発されたもので、使用する機器の重量に応じてレベル1からレベル5までの5種類がラインアップ。価格的にも魅力のシリーズとなっている。本項では園田洋世氏をはじめ、3人の評論家がそれぞれの試聴時のコンポーネントの質量に適応したモデルを設置して、その効果を体験している。



Text by
園田洋世
Yasei Sonoda

**ゲルの表面積や重量、密度で
荷重に対し最適に調整できる**

ハイエンド・オーディオラックで有名なイタリアのパッソコンティニューオからインシュレーター「ULTRA FEET」シリーズが発売された。いきなり結論めいたことを書いてしまおう。「この音がこの価格で手に入るとは凄い！」。ハイCPインシュレーターである。

上部はステンレス製の「ULTRA FEET」、そのキモは下部（底面）にある。名門スピーカーブランド、ソナス・ファベールと同じイタリアはヴィチエンツァに本拠地を置くというTechnology社が開発した素材「Technogel®」だ。輸入元の資料によればこのゲルは「一般的なゲル同様に」流体と固体双方の特性を持っているだけでなく、あらゆる方向からの負荷を分散させるほどの柔軟性をも兼ね備えることで、応力（＝物体に外力が加わった際それに応じて物体の内部に生ずる力）を熱エネルギーに効

率良く変換させる。一般的なゴムと比べて70%以上高い振動吸収性を有している」という。そして「非常に特殊な減衰係数を持つため、表面積・重量・密度それぞれが密接に関係していて、研究の結果、このゲルの表面積・重量・密度を調整し、荷重に対し最適な構造にする」と最も効果的な制振効果を発揮することが判明した」のだという。

**適正荷重に対応できる
5種類がラインアップ**

それゆえに「ULTRA FEET」シリーズでは「適正荷重」が機種の違いとなっている。つまり上に載せる機器の重量によってユーザーが機種を選ぶようなラインアップになっているのは、この研究結果の反映というわけだ。だからLEVEEL2～5の下部に配置された「Technogel®」は、どれも異なる。負荷を大きく4種類に分け、それに応じて密度や厚さを作り分けているのである。

ちなみにLEVEEL1だけは、この「Technogel®」の代わりにカスタメイド・ラバーを下部に採用している。当然LEVEEL2～5に比べると振動吸収性が低い。しかしLEVEEL1のみ上部のステンレス部分を一体成型

Bassocontinuo

ULTRA FEET

インシュレーター

※ラインアップは写真右から「LEVEL1」「LEVEL2」「LEVEL3」「LEVEL4」「LEVEL5」

●取り扱い:(株)ノア



とすること、高さ調整を不可能とさせる反面、他の4機種より1個あたりの耐荷重を大きくした。さらにスパイク受けとしても使えるようにすることで、製品の重量範囲が広くスパイク接地が多いスピーカーにも使用できる機種となっている。

的確に荷重が定められ 経年変化にも強いゲル

いわゆるゲル状の物質自体は、熱心なマニアの間でも各種試している例を聞く。しかしその多くはオーディオ・インシュレーター専用の製品ではないので使いこなしがかなり難しかったりする。その点「ULTRA FEET」は使いこなしが簡単である。的確に荷重が定められた「Technology e-1®」を採用することにより、ゲルの形状や個数等で試行錯誤する必要がないからだ。

また、オーディオアクセサリメーカー製品で過去にゲルを使用したものはやはりあった。しかしそれは数年毎の交換を推奨していたことを覚えている方もいらっしゃるだろう。ゲル状の物質は経年で劣化してしまうものが多いのだ。しかしなんと、「Technology e-1®」には、化学溶剤が含まれていないため、温度や湿度の変化

に対して不活性で劣化しづらく、長期使用においても優れた性能を不足なく発揮するという。

■レベル3をネットワークプレーヤーに使用
ベースが気持よく伸び、足場が取れたような表現

前置きが長くなった。試聴に移ろう。

まずは「ULTRA FEET」無しでひと通り聴いてから、最初にエソテリック「N・05XD」で試してみる。重量13・8kgの機器。フロント2点・リア1点で合計3つのフットは特許も取得している非常に高性能なフットなので、このフットを使わない手はない。

そこで「ULTRA FEET」は3個使用時の適正荷重が7・5kg/15kgのLEVEL3を選び各フットの下に設置する。試聴したのはQobuzである。

エッタ・キヤメロン「Motherless Child」はベースが気持ち良く伸びる。不要振動処理能力が正しく向上するところのように足場が取れたかのような表現が聴けるものだ。さらに音場が奥行き方向に拡大。音像の定位する位置の表現と、音像自体の立体感が特に前後方向において改善している。解像度も明らかに向上してシンバルの精妙な響きが非常

に高精細になる。

シヴァート・ハイヤム「Bion Away」は人工的に作られた音場に展開する電子音やギター、そしてヴォーカルが「ULTRA FEET」を入れたことでやはり立体感を増しているし、大き過ぎた音像サイズが適正化してキュッと締まった。

■レベル5をパワーアンプに使用

音場全体のノイズが下がり 一切の付帯音が取り除かれる

では次。今まで床のカーペットの上に直置きしていたアキュフェーズのパワーアンプ「A・80」(44・6kg)の4つのフットの下に、LEVEL5(4個使用時の適正

荷重40・4kg(80kg)を設置してみよう。

エッタ・キャメロンは余計な付帯音がスッパリ取り除かれて各音像がクリアに。ベースもシンバルも音像が安定して揺らがらない。

シヴァート・ハイヤムもやはり音像がクリアに。モヤつきが解消している。同時に音場全体のノイズフロアがグッと下がっているの浮かび上がる。「A・80」のフットの接地面にはフェルト状の生地が取り付けられているので、その下にインシュレーターを設置しても変化など生じないイメージがあるかもしれないが、これが全然

違うのだ。

「ULTRA FEET」は価格破壊のパフォーマンスである。1セット導入すると買い足したくなるタイプのアクセサリだ。



Text by
井上千岳
Chitake Inoue

■レベル1をスピーカーに使用 抵抗が一切なくなった感 濁りが消えエネルギーが増す

レベル1だけはジェルではなく特製のラバーを装着しているので、スピーカーに使用することもできる。まずはモニターオーディオの

「PL200 3G」のスパイクベースとして試してみた。

刺々しさのない当たりの柔らかな音調が得られる。音の質感自体は明瞭で切れのいい出方だが、非常に柔和に感じられるのはほとんどノイズや歪みが少ないからかもしれない。その証拠に高域の伸び方が大変滑らかで、先端の方まで行っても少しも苦しそうではない。

うかつに聴いているとそれがわからないくらいで、よほど自然な出方をしているということである。

パロックでは古楽器の艶やかさと輝かしさが、耳障りな刺を全く感じさせずに引き出されている。抵抗というものがまるでなくなった感で、これはライブでの感触に近い。ピアノでは輪郭のくつきりしたタッチが厚手の響きに包まれ、しかも明快さを失うことなく静かに清廉に鳴っている。暴れがなく、また音色に暖かさがある。

コーラスにぴったりののは当然で、透明なハーモニーがふつらとした肉質感に支えられて豊かに広がる。響きが澄んでアンサンブルの流れがよくわかる出方である。オーケストラも楽器の音色に濁りがなく、幾分暖色的な色合いで刺のない響きが描き出されている。立ち上がりも速く、エッジが明確

でエネルギー豊かな鳴り方をする。奥行の遠近がくつきりして楽器それぞれのピントが明快なもの、音場の空間性を高めている。濁りが消えてエネルギーが増す。一言で言えばそういう出方である。

■レベル4をプリアンプに使用 澄んだ余韻が引き立ち 一音一音が明確になる

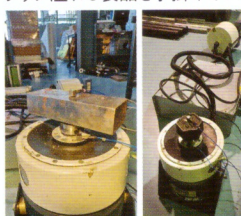
そのままレベル4をアキュフェーズのプリアンプ「C・3900」に敷いてみるといつそう研ぎ澄まされた感で、澄んだ余韻がさらに引き立ち奥行も深さを増す。

パロックでは暖昧さが消え、楽器それぞれの存在感が明瞭で、表情がずつと複雑に多彩に描き出されている。ピアノは音色の暖かみやふつくらとした響きがそのままに、一音一音の存在感がずつとつきりしている。コーラスは先ほどより奥へ引いて、パートごとの旋律線がよりはつきりする。分離がよくなったため、澄んで静かだが声には生き生きとした起伏が乗っている。

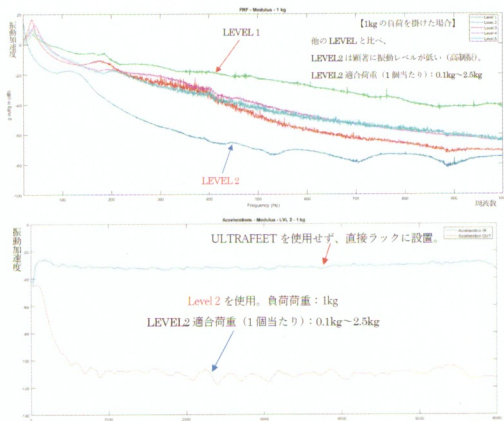
オーケストラは遠近の深まりが大きく、個々の楽器の位置感が明確で、ダイナミックなうねりが振幅を増し、音楽の表現力がさらにスケールを加えている。これが本来の姿だったと理解するのである



Bassocontinuoは2008年イタリア。ミラノ近郊の町ベルガモに設立。製品に使用するパーツや付属品は全てがMade In Italy。イタリア国内の数十の マニファクチュアや優れた工房・職人と協力してクラフトマンシップ溢れる製品を手掛けている



ミラノ工科大学航空宇宙科学部の研究メンバーにより設立された機関、Vicoter社の協力のもとで、「Technogel®」の表面積、重量、密度を調整し、荷重に対し最適な構造にするための実験的テストで検証も重ねられた



ULTRA FEETの各レベルに一定の負荷を掛けた時に、0~1,000Hzの周波数をどれだけ制振しているかを示したグラフ



LEVEL 1

3個セット¥27,500(税込)
4個セット¥35,200(税込)
●サイズ:44W×25Hmm
●適合荷重:1個=0.1kg~15kg
／3個=0.3kg~45kg／4個=0.4kg~60kg
●高さ調整不可



「LEVEL1」はスパイクベースとしても使用できる

LEVEL 2

3個セット¥35,200(税込)
4個セット¥41,800(税込)
●サイズ:44W×28Hmm
●適合荷重:1個=0.1kg~2.5kg
／3個=0.3kg~7.5kg／4個=0.4kg~10kg
●高さ調整可(最大2mm)



「LEVEL3」をESOTERICのネットワークプリ「N-05XD」(質量13.8kg)に3点設置

LEVEL 3

3個セット¥51,700(税込)
4個セット¥66,000(税込)
●サイズ:49W×29Hmm
●適合荷重:1個=2.6kg~5kg
／3個=7.8kg~15kg／4個=10.4kg~20kg
●高さ調整可(最大2mm)

LEVEL 4

3個セット¥47,000(税込)
4個セット¥51,700(税込)
●サイズ:54W×29Hmm
●適合荷重:1個=5.1kg~10kg
／3個=15.3kg~30kg／4個=20.4kg~40kg
●高さ調整可(最大2mm)



「LEVEL5」をACCUPHASEのパワーアンプ「A-80」(質量44.6kg)に4点設置

LEVEL 5

3個セット¥68,200(税込)
4個セット¥85,800(税込)
●サイズ:59W×35Hmm
●適合荷重:1個=10.1kg~20kg
／3個=30.3kg~60kg／4個=40.4kg~80kg
●高さ調整可(最大2mm)

「ウルトラ・フィート」の最大の特徴は、応力を熱エネルギーに

変換する素材「Technogel」

である。北イタリア／ヴィチエンツァに本社を置くTechnogel社が開発した同素材は、液体と固体双方の物理特性を持ち、あらゆる方向からの負荷を分散する性能があるという。

これを表面積／重量／密度を変えて、高精度CNCマシンで成型された5つのサイズのステンレス製ハウジングの底面に配置している(最軽量のLEVEL1は別のカスタムメイドラバーを使用)。

こうした異なる密度や厚みの設定により、負荷に応じた最高の振動吸収性がコントロールされているわけだ。カタログにはその検証データが記載されている。

シャランリングSM1・3の筐体底板は樹脂製で、その脚部4点も同一素材の一体成型。この脚部を避けて、LEVEL2を前方2点／後方1点で支持してみたところ、劇的な改善効果が確認できた。

一聴で感じるのは、ステレオイメージの見晴らしのよさとS/Nのアップだ。霞が晴れたというとおぼろげな表現だが、まさにクリアネスが高まり、演奏が立体的に醸し出されるようになった。また、通常の設置状態で感じられた低域の膨張感が削がれ、すっきりとし

た整ったエネルギーバランスになった。トランジェントの向上も著しい。これは自宅システムでもぜひとも使ってみてみたくなった。

変換する素材「Technogel」

である。北イタリア／ヴィチエンツァに本社を置くTechnogel社が開発した同素材は、液体と固体双方の物理特性を持ち、あらゆる方向からの負荷を分散する性能があるという。

これを表面積／重量／密度を変えて、高精度CNCマシンで成型された5つのサイズのステンレス製ハウジングの底面に配置している(最軽量のLEVEL1は別のカスタムメイドラバーを使用)。

こうした異なる密度や厚みの設定により、負荷に応じた最高の振動吸収性がコントロールされているわけだ。カタログにはその検証データが記載されている。

シャランリングSM1・3の筐体底板は樹脂製で、その脚部4点も同一素材の一体成型。この脚部を避けて、LEVEL2を前方2点／後方1点で支持してみたところ、劇的な改善効果が確認できた。

一聴で感じるのは、ステレオイメージの見晴らしのよさとS/Nのアップだ。霞が晴れたというとおぼろげな表現だが、まさにクリアネスが高まり、演奏が立体的に醸し出されるようになった。また、通常の設置状態で感じられた低域の膨張感が削がれ、すっきりとし

た整ったエネルギーバランスになった。トランジェントの向上も著しい。これは自宅システムでもぜひとも使ってみてみたくなった。

変換する素材「Technogel」

である。北イタリア／ヴィチエンツァに本社を置くTechnogel社が開発した同素材は、液体と固体双方の物理特性を持ち、あらゆる方向からの負荷を分散する性能があるという。

変換する素材「Technogel」

である。北イタリア／ヴィチエンツァに本社を置くTechnogel社が開発した同素材は、液体と固体双方の物理特性を持ち、あらゆる方向からの負荷を分散する性能があるという。



「LEVEL1」をMONITORAUDIOのスピーカー「Platinum 200 3G」(質量35.8kg/台)にスパイクベースとして4点設置



「LEVEL4」をACCUPHASEのプリアンプ「C-3900」(質量24.8kg)に4点設置



「LEVEL2」をSHANLINGのネットワークプレーヤー「SM1.3」(質量7.34kg)に3点設置

“A CULTIVATION OF VIBRATION RESEARCH RESULTS — SELECTABLE BASED ON EQUIPMENT WEIGHT”

Profile: Bassocontinuo is an Italian specialist brand in audio racks. Its name, which evokes the term “basso continuo” in classical music, stands for both functionality and aesthetic harmony. Loved by audiophiles around the world, especially in Europe, the brand has long focused on anti-vibration design and structural analysis.

Now, with over 15 years of vibration countermeasure research, Bassocontinuo has developed the new “Ultra Feet” series of insulators, aimed at upgrading audio performance.

The product lineup offers five models, each optimized for equipment weight and structure, so users can select the one most appropriate to their system and experience its effects.

Main article text:

In the high-end audio accessory world, isolators and insulators are already widely used, but few manufacturers have developed a lineup that varies model-by-model based on equipment weight and vibration characteristics.

Bassocontinuo’s “ULTRA FEET” is one such rare product line.

What makes these insulators particularly interesting is their use of **Technogel®**, a high-performance vibration-absorbing material also used in the medical and aerospace industries.

Each Ultra Feet level has a different composition and is designed to match a specific load range. For example, the damping ability of LEVEL 5 is significantly higher than that of LEVEL 1, and each step offers a measurable improvement in energy dispersion.

While they all use stainless steel for the outer shell, the internal materials are tuned differently to optimize energy absorption.

Bassocontinuo’s extensive experience with rack design allows them to offer Ultra Feet not as generic accessories, but as precision-matched insulators for each component’s weight and type.

The structure of the Ultra Feet series is very solid, with a CNC-machined stainless steel body and a precision-manufactured base. The finish is excellent and luxurious.

Additionally, the installation process is extremely simple. Just place them under your components — no tools needed. Depending on the load, you can use either three or four pieces per device.

Another highlight: the price is surprisingly affordable for the performance offered.

Among the accessory products reviewed recently, Ultra Feet offers one of the best cost-to-performance ratios and is expected to become a standard for vibration isolation in the near future.

Highlighted vertical text (right side in blue):

“Technogel’s unique vibration control mechanism suppresses resonance and enhances quietness.”

Text by: Yosei Sonoda

Bassocontinuo

ULTRA FEET

Distributor: Noah Co., Ltd.

Main Body Translation:

ULTRA FEET was developed by Bassocontinuo, a specialist brand in audio racks, using their knowledge in structural vibration control.

These insulators are composed of a **CNC-machined stainless steel body** and an inner vibration-absorbing gel called **Technogel®**, which is also used in the medical and aerospace industries. This gel effectively suppresses unwanted resonance.

Each model in the ULTRA FEET series is differentiated by the load it supports. Depending on the weight of your equipment, you can choose the most appropriate level:

- LEVEL 1 supports loads of up to 15 kg.
- LEVEL 5 can support heavy equipment up to 60 kg.

The damping performance increases with each level. For example, LEVEL 5 uses a gel layer that is thicker and more elastic than that in LEVEL 1, providing greater vibration suppression.

What's impressive is that these insulators are **not just differentiated by size or price**, but are actually optimized in material configuration, structural damping, and mechanical design based on the specific use case and supported load range.

Additionally, thanks to their precisely calculated internal damping, they **do not over-dampen or distort the music**. Instead, they enhance resolution and spatial clarity by removing micro-vibrations.

Installation is extremely simple — just place them under your components. No screws or adhesives are necessary, and they are equally effective whether used under the chassis directly or beneath a rack shelf.

Their **lightweight design** also makes it easy to use them during tuning or for temporary setups, such as at events or showrooms.

Highlighted Vertical Blue Text (on right side):

- “Ultra Feet significantly suppress resonance without loss of energy transmission.”
- “High damping gel achieves an ideal energy balance.”
- “Sound becomes clearer, with more stable imaging and spatial definition.”
- “The structure of the playback system becomes more solid and anchored.”



1. *Bassocontinuo was founded in 2008 in a suburb of Milan, Italy. It produces all its products in-house with a firm commitment to “Made in Italy.” The factory also has a vibration-measurement facility to back up its product design with science.*
2. *Testing environment developed in collaboration with the Department of Aerospace Engineering at Milan Polytechnic and Vicoter. They verified the damping performance of Technogel®.*
3. *Graph showing the frequency response from 0 to 1,000 Hz for each Ultra Feet level when a fixed load is applied.*

Main Article Text:

Once the Ultra Feet is placed under audio equipment, the most immediately noticeable change is a **lowering of the overall noise floor**. This effect was evident even when used under a power amplifier like the **Accuphase A-80**, which weighs 44.6 kg (tested with LEVEL 5).

The background becomes quieter, and the contours of each sound are drawn more clearly. This brings the entire performance into sharper focus, providing a more vivid musical experience.

This kind of performance is generally difficult to achieve with conventional insulators. It is precisely because **Ultra Feet is designed and tuned for each weight range** that it delivers this level of performance.

The **Technogel® material**, central to the design, functions as a vibration control interface. Its structure allows it to disperse unwanted energy while maintaining physical elasticity. Each level of Ultra Feet has a different internal structure and damping thickness, providing **load-specific optimization**.

Blue Vertical Highlighted Quotes (right side):

- “Noise floor drops; background becomes silent.”
- “Unwanted resonances are absorbed at the point of contact; excess energy dissipates smoothly.”
- “Resolution increases; details in the music become clearer.”
- “Imaging sharpens; soundstage becomes more dimensional.”

In our listening tests, we also found that **the resistance and rebound timing of the insulators** are extremely well-tuned. You can sense the differences not only in analytical tests but also intuitively through your ears.

The **response speed improves**, enabling better tracking of piano notes and vocals. The result is **more lifelike musical phrasing** and a sense of emotional richness.

This was especially clear in the midrange frequencies. For example, when listening to string quartets or piano solo recordings, **delicate dynamic shifts** were easier to perceive, enhancing the feeling of presence.

Using them in a live room environment also demonstrated improved **sound localization** and **depth**. Instruments and vocals stood out more distinctly within the space.

Text by: Chitake Inoue



LEVEL	PRICE (tax included)	SET CONTENTS	SIZE	WEIGHT SUPPORT/ UNIT	RECOMMENDED LOAD / SET	OTHER
Level 1	¥27,500 (set of 4)	3 pcs: ¥35,200 (set of 3)	Ø42 × H25 mm	0.3–3.0 kg / unit	1.0–15 kg (3 pcs) / 1.3–20 kg (4 pcs)	Cannot be stacked
Level 2	¥35,200 (set of 4)	3 pcs: ¥41,800 (set of 3)	Ø44 × H28 mm	0.6–3.0 kg / unit	1.8–10 kg (3 pcs) / 2.4–15 kg (4 pcs)	Max compression: 2 mm
Level 3	¥51,700 (set of 3)	4 pcs: ¥66,000 (set of 4)	Ø49 × H29 mm	1.6–6.5 kg / unit	4.8–20 kg (3 pcs) / 6.4–26 kg (4 pcs)	Max compression: 2 mm
Level 4	¥47,000 (set of 3)	4 pcs: ¥51,700 (set of 4)	Ø54 × H29 mm	3.5–10 kg / unit	10.5–30 kg (3 pcs) / 14–40 kg (4 pcs)	Max compression: 2 mm
Level 5	¥58,200 (set of 3)	4 pcs: ¥85,800 (set of 4)	Ø59 × H35 mm	3.8–20 kg / unit	11.4–60 kg (3 pcs) / 15.2–80 kg (4 pcs)	Max compression: 2 mm

Product Use Examples

- *LEVEL 1 can also be used as a spike base.*
- *LEVEL 3 used under the ESOTERIC network player “N-05XD” (13.8 kg), with 3 supports.*
- *LEVEL 5 used under the ACCUPHASE power amplifier “A-80” (44.6 kg), with 4 supports.*
- *LEVEL 1 used under MONITOR AUDIO speaker “Platinum 200 3G” (35.8 kg each), 4 feet per unit with spike bases.*
- *LEVEL 4 used under ACCUPHASE preamplifier “C-3900” (24.8 kg), with 4 feet.*
- *LEVEL 2 used under SHANLING network player “SM1.3” (7.34 kg), with 3 feet.*

Main Review Section

The Ultra Feet lineup consists of five levels tailored for different equipment weights. LEVEL 1 supports lightweight components; LEVEL 5 supports heavyweights like large power amps or floorstanding speakers.

In actual use, **LEVEL 1** was tried under MONITOR AUDIO’s Platinum 200 3G speaker (35.8 kg), using four feet with spike bases. Even though it is marketed as a light-duty model, its performance was notable — this confirmed that it can also serve as an effective spike base.

LEVEL 2 was installed under SHANLING's SM1.3 network player. It's a modest-sized component weighing 7.34 kg. With three Ultra Feet installed, the low-end tightened, and vocals gained focus and dimension.

LEVEL 3 was paired with ESOTERIC's high-end network player N-05XD. This model weighs 13.8 kg, and the Ultra Feet's isolation effect was immediately apparent. The **soundstage opened up**, and **each note felt more controlled**. This is where the design sophistication of Ultra Feet shines.

LEVEL 4 was tested with ACCUPHASE's preamp C-3900. With a weight of 24.8 kg, four feet were used. The result was a major improvement in **midrange texture and microdynamics**, showing how Ultra Feet can scale with more complex components.

LEVEL 5, the highest spec, was tested under the ACCUPHASE A-80 (44.6 kg). The biggest change was in **energy control** — **bass tightened**, and **transients became clearer**, allowing the sound to breathe with natural power.

The entire series shares a solid stainless-steel CNC body and a high-performance **Technogel®** interior. Each level differs not just in load support but also in **damping structure and gel thickness** — making the Ultra Feet a *true vibration control solution*.

Reviewer's Note (Blue Highlighted Quote):

"I wanted to try them at home — and I was able to confirm dramatic improvements in sound."

Text by: Yoshio Obara